

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 54	個別の課題に合わせた、日々の関わりを職員皆が出来るようにしたい。	暮らしの中での食事作りや洗濯などの家事について、ケアプラン上で「役割作り」という様な誰でも当てはまる意味にせず、個人個人にとって、同じ家事でも行う意味の違いがあることを意識したプランを作る。そのことを意識した日々の支援を行うことで、職員には介護職としての自信を深めてもらい、本人・家族との信頼関係も深めていく。	その方の一人で出来ること、少し手伝えれば出来ること、一人では出来ないことを把握し、表を作成しアセスメントを深める。適量の支援による本人の自立を共に喜び、信頼関係を深める。また、その方の課題に合わせた家事の仕方をケアプランに反映させ、職員はそれを踏まえた支援をする。本人・家族にもその支援の理由を知っていただくように説明をしっかりとる。	6ヶ月
2	26	ご家族の気持ち、要望をおっしゃって頂き易い方法が足りない。職員、家族と一緒に支えていくことを感じられるようにならなければならない。	施設に預けたことに、負い目を感じる家族の気持ち、心配な気持ちがなくなるようにする。また、入居者にとって家族とのつながりを常に感じられる様にし、家族の絆を深める。	家族との信頼関係を築く為に、こちらから積極的に家族の困っていること、不安、要望を伺っていく。その為、ご家族が要望などを話しやすいように「健康」「整容」「室内環境」等項目ごとに伺えるシートを作成する。ケアプラン作成時、家族の役割をお話し、プランに反映させる。今後進める個別ケアの実施状況を毎月報告し、皆で支えていることを意識して頂く。	6ヶ月
3	49	夜間職員の少ないときの災害、火災への対策が足りない。	夜間の入居者の安全が確保できるように、会議、訓練を行い、近隣や家族の協力を得られる体制を作る。	夜間の火災や災害時の人員不足緩和の為、自治会を通じ、近隣の方への協力をお願いする。また、職員間だけでない、家族・近隣を含めた、緊急時の連絡網の整備と避難方法の策定。夜間を想定した消防避難訓練を12月に実施する。	9ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。